

ゆりかごだより



2021年2月発行 No.48

梅の便りも聞かれるころとなりましたが、例年に比べ今年は日ごとの気温差や一日の寒暖差が大きい日が続いています。1月の病児保育室ゆりかごは、乳幼児一過性下痢症のお子さんのご利用がありました。また新年度入園に向け、登録される方が増えてきました。冬から春は、空気の乾燥から肌が荒れやすくなります。さらに新型コロナウイルス対策で手洗い・消毒をする回数も増えました。お子さんの手がカサカサしていたり、かゆがっていたりしていませんか？周囲のおとなが気をつけてあげ、お子さんの手を守りましょう。



親子でハンドケア



上手に手洗いするお子さんが増えました。でも寒い日が続くと簡単に済ませがちになります。また荒れていたり、傷などがあると痛くて十分に洗えません。**手のケアが衛生につながります**のでこまめにケアしてあげましょう。



袖をまくり、手首まで洗いましょう。

拭き残しはないかな？
優しくていねいに拭きましょう。

泡やヌルヌルがなくなるまで、
しっかりすすぎましょう。



手洗いの後はハンドクリームなどの保湿剤でケアしましょう。日中が難しい場合は寝る前に、嫌がるお子さんは寝ている間にそっと塗ってあげましょう。カサカサや傷が数日たっても改善されない場合は、皮膚科専門医を受診しましょう。

手づくりおもちゃ ～part2～



絵合わせカード

段ボールを切り抜き、2枚ずつ絵を貼り合わせます。

裏返して神経衰弱のようにしたり、小さいお子さんは同じ絵を探して合わせて楽しめます。

休日登録会のお知らせ



3月14日(日) 9:30～

(事前予約・入れ替え制)

詳細は電話にてお問い合わせください



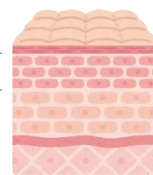
看護師より

～皮膚のバリア機能～

皮膚のいちばん外側にある角質層にはからだを守るバリア機能があります。このバリア機能の役割はアレルギーなどの異物やばい菌、ウイルスが入るのを防いで体を守り、体内から水分が出ていくのを防いで乾燥から守ります。しかし、皮膚のバリア機能は、乾燥や紫外線、外からの刺激で機能が低下します。



角質層



角質層の水分量が減ると皮膚は敏感になり、かゆみを感じやすくなりますので、掻いてしまうことで皮膚に刺激が加わり、ますますかゆみが増します。また、異物やばい菌、ウイルスが体の中に入りやすくなり湿疹や皮膚の炎症をおこす場合もあります。皮膚のバリア機能を低下させないためには乾燥を防ぎ、刺激から皮膚を守るスキンケアが大切です。



堺市訪問型病児保育センター

サポート会員が利用会員の自宅等を訪問し病気などのお子さんを保育します
病児保育施設への送迎も行います

詳しくはホームページをご覧ください

<http://yurikagonetwork.com/houmon>



病児保育室ゆりかご

開室時間 平日 8:00～18:00

〒599-8247 堺市中区東山 1042-1

電話/FAX 072-234-6880

<http://yurikagonetwork.com/hoikushitsu/>



事前登録は、平日の開室時間内に随時受け付けております。お電話にてご予約下さい。